

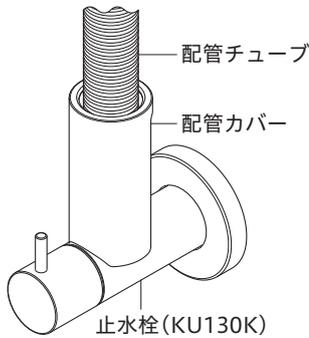
# KVK KU130K用配管カバー (KU130KHC 〈各仕様共通〉) 施工説明書

施工業者様へ 施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。  
この施工説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

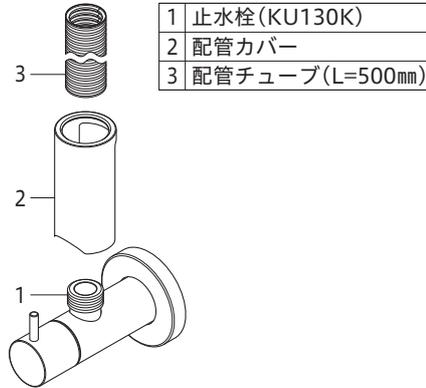
## 取り付け前に

- 本製品はKVK製止水栓(KU130Kシリーズ)用の配管カバーです。KU130Kシリーズ以外の製品には取り付けできません。
- 配管カバーや配管チューブに無理な力を加えないでください。配管カバー本体やツメが破損したり、配管チューブが変形する場合があります。
- 止水栓に継ぎ足しジョイントや斜めエルボなどを接続した場合、配管カバーが取り付けできない場合があります。
- 寸法図を参照いただき、お使いの水栓の止水栓接続部が配管カバーに干渉しないことを確認してください。

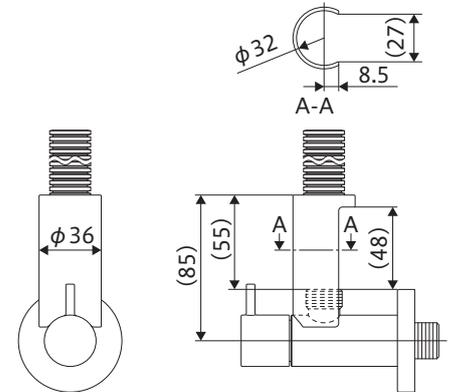
## 取り付け完成図



## 分解図



## 寸法図



## 取り付け方法 (フレキシブルホースの場合)

※ブレードホース・銅管の場合の取り付け方法は裏面をご確認ください。

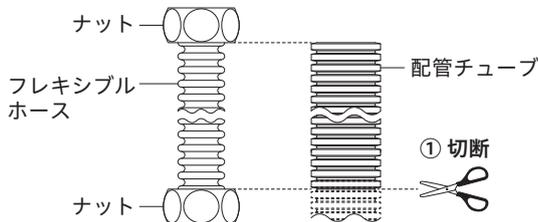
### 1 止水栓(KU130K)の取り付け

配管に止水栓(KU130K)を取り付けます。

### 2 配管チューブの取り付け

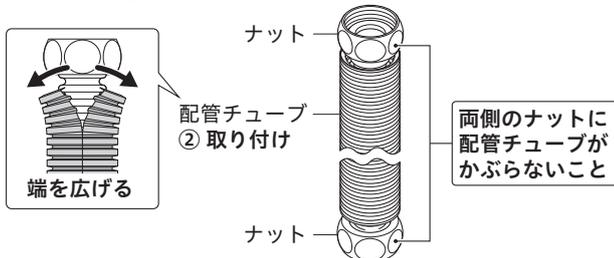
① フレキシブルホースの長さに合わせて、配管チューブを切断します。

【お願い】フレキシブルホースの両側ナットに配管チューブがかぶらない長さにしてください。ナットに配管チューブがかぶると、配管カバーが取り付けできなくなります。



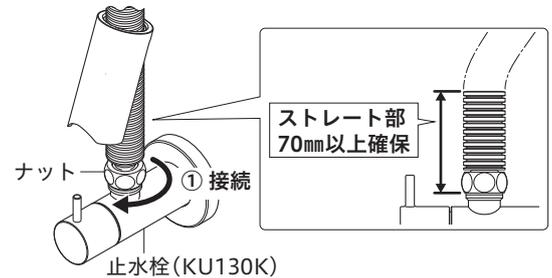
② フレキシブルホースに切断した配管チューブをかぶせます。配管チューブの端を広げて、端から少しずつかぶせてください。

【お願い】配管チューブがつぶれるおそれがありますので、無理に押し込まないでください。



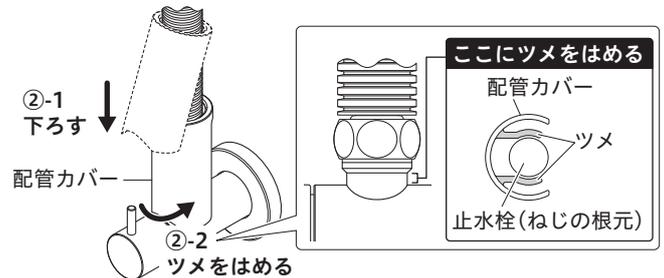
### 4 止水栓(KU130K)との接続

① フレキシブルホースのナットを締めて、止水栓と接続します。  
【△注意】ストレート部をナット端面から70mm以上確保してください。ストレート部がない場合、配管カバーが取り付けできません。



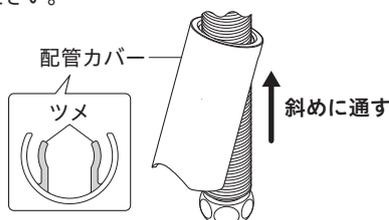
② 配管カバーを斜めの状態で下までおろし、止水栓のねじの根元にツメをはめます。

【お願い】止水栓のねじの根元以外の場所にツメをはめないでください。ツメが破損するおそれがあります。



### 3 配管カバーの取り付け

配管チューブをかぶせたフレキシブルホースに配管カバーを通します。配管カバーのツメが配管チューブに引っかからないよう、斜めに通してください。



### 5 本体との接続

フレキシブルホースのナットを締めて、本体と接続します。

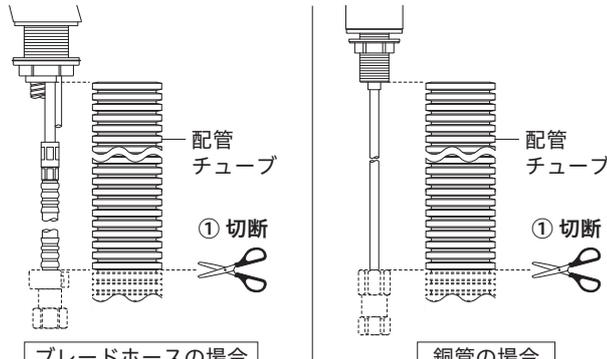
裏面もご確認ください。

## 取り付け方法（ブレードホース・銅管の場合）

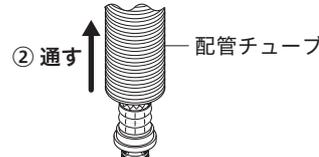
※フレキシブルホースの場合の取り付け方法は表面をご確認ください。

**1 止水栓(KU130K)の取り付け**  
配管に止水栓(KU130K)を取り付けます。

**2 配管チューブの取り付け**  
① ブレードホースまたは銅管の長さに合わせて、配管チューブを切断します。（下図参照）

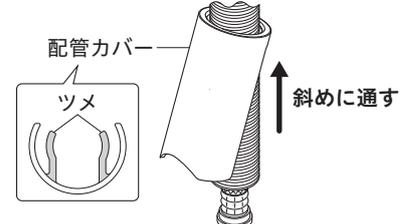


② ブレードホースまたは銅管の先端から配管チューブを通します。



**3 配管カバーの取り付け**  
配管チューブをかぶせたブレードホースまたは銅管に配管カバーを通します。配管カバーのツメが配管チューブに引っかからないよう、斜めに通してください。

【△注意】ブレードホース先端のリングや銅管を傷つけないようにしてください。漏水のおそれがあります。

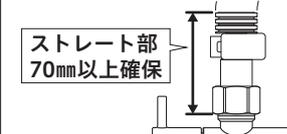
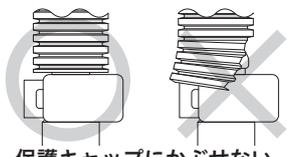


**4 止水栓(KU130K)との接続**  
① 止水栓にブレードホースまたは銅管を接続します。  
接続方法の詳細は、水栓本体の施工説明書をご参照ください。  
※接続しにくい場合は、配管チューブを半分程度までめくった状態で、接続してください。接続後、配管チューブはかぶせ直してください。

【△注意】接続の際、下記にご注意ください。

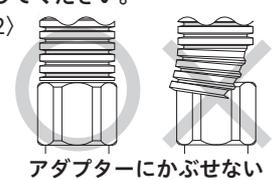
**ブレードホースの場合**

- 保護キャップの閉じている方を後方へ向けてください。（図1）
- ストレート部をジョイント端面から70mm以上確保してください。（図2）
- ストレート部がない場合、配管カバーが取り付けできません。
- 配管チューブが保護キャップにかぶらないようにしてください。（図3）配管カバーが取り付けできません。保護キャップにかぶる場合は、配管チューブを長さに合わせて切断してください。

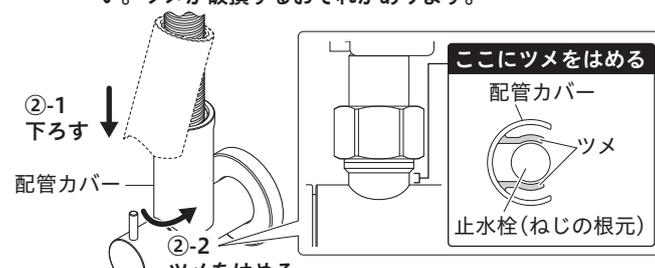
**銅管の場合**

- ストレート部をジョイント端面から70mm以上確保してください。（図1）
- ストレート部がない場合、配管カバーが取り付けできません。
- 配管チューブがアダプターにかぶらないようにしてください。（図2）
- 配管カバーが取り付けできません。アダプターにかぶる場合は、配管チューブを長さに合わせて切断してください。

② 配管カバーを斜めの状態で下までおろし、止水栓のねじの根元にツメをはめます。

【お願い】止水栓のねじの根元以外の場所にツメをはめないでください。ツメが破損するおそれがあります。



## 通水確認

【△注意】水栓取り付け後、通水して湯水の出し止めを5～6回繰り返し、配管接続部および水栓からの水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。  
配管接続部を確認する際は、配管チューブをめくって確認し、確認後配管チューブをかぶせ直してください。